

尊氏軍僅
率領五百騎
闖入九州

★尊氏軍的陣型肉眼可見的鬆散!!

對抗數萬敵軍

與當地
武士中的
三百名同伴
一起

逃上手若君

第112話 幕間休息②

松井優征



數十倍
戰力差

形勢對他
相當不利

若根據
史料概述
這一戰

哦哦

不錯嘛
直義！

那便是
「足利尊氏」
僅憑數名護衛
守住了大本營」

噢噢噢
哦哦哦
噢噢噢
哦哦哦

「足利直義
英勇奮戰」



「敵軍被
沙塵暴等
神之加護
頻繁阻攔」

好嘞

到我了



「最後
尊氏一出陣」



「敵軍便
非降即逃」

「總之
獲勝了」

...



若只看
文字記載

關於尊氏是
如何降服那
數十倍敵軍的

我們
找不到一點
可信的說明

「太平記」對於
這場不可解的
勝利

只說
「多虧了尊氏
在前世行善積德」

而完全
放棄了分析

能確定的唯有

好啦
直義

兵力足夠多了
我們回京吧

嗯

在令人
匪夷所思的
九州大勝仗中

西國武士
都被尊氏
納入了麾下

為足利奪下
全國政權
打下了基礎



京城

足利已經
卷土重來了！

兵力是我軍的
十倍以上！

新田也
鍛羽而歸！

……



把楠木
叫來

現在只能
仰賴他的
謀略了

臣只有一計

望聖上能
再逃跑一次

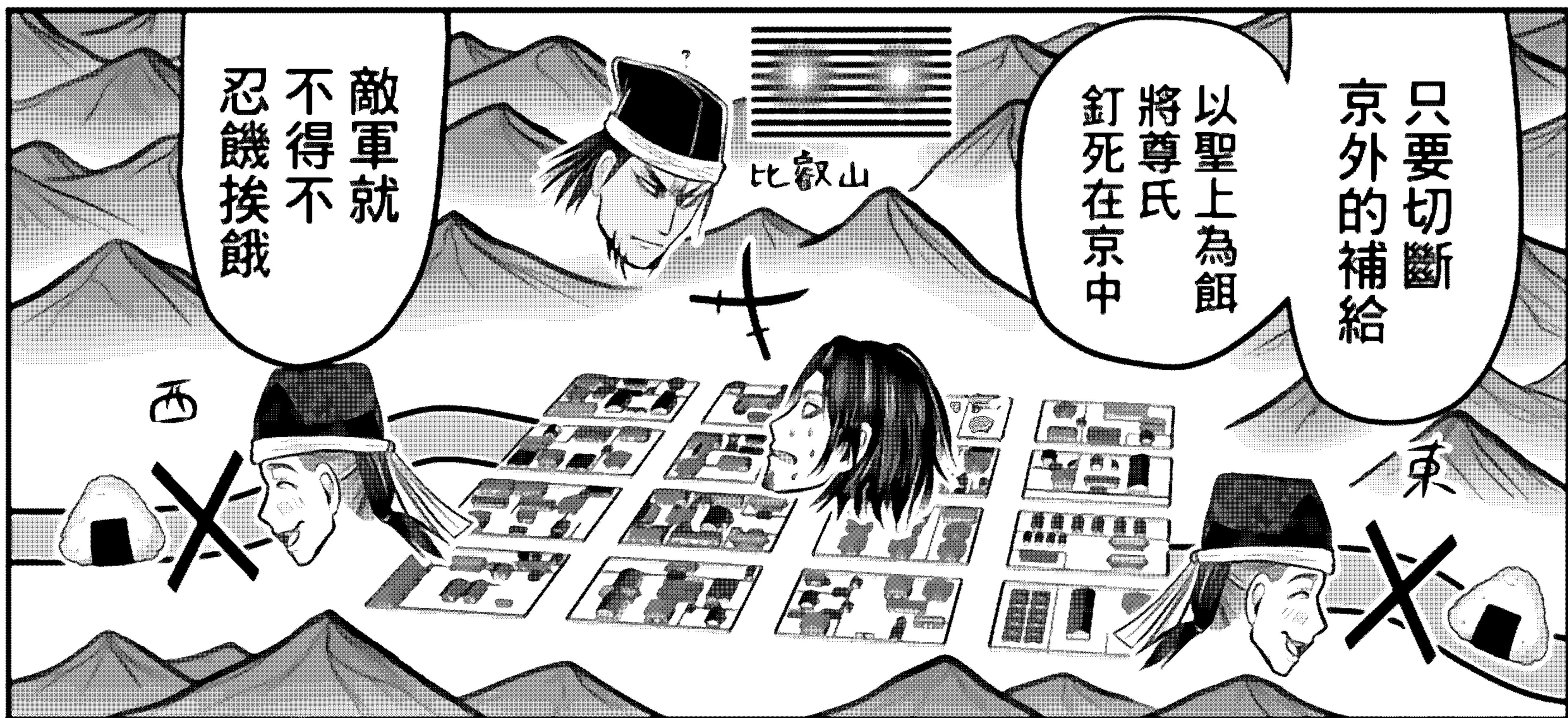
……你是說

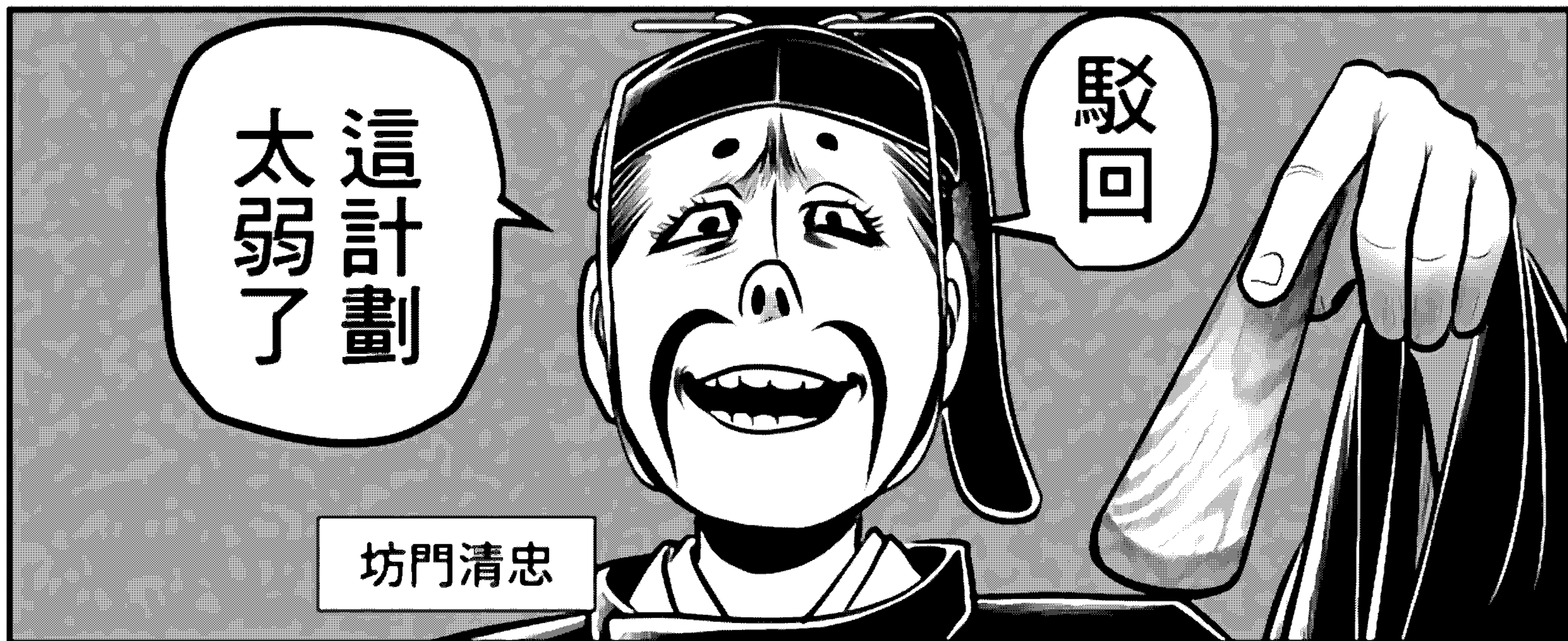
要再次引誘
尊氏入京？

沒錯

尊氏軍
急著趕路
並未儲備
足夠的兵糧





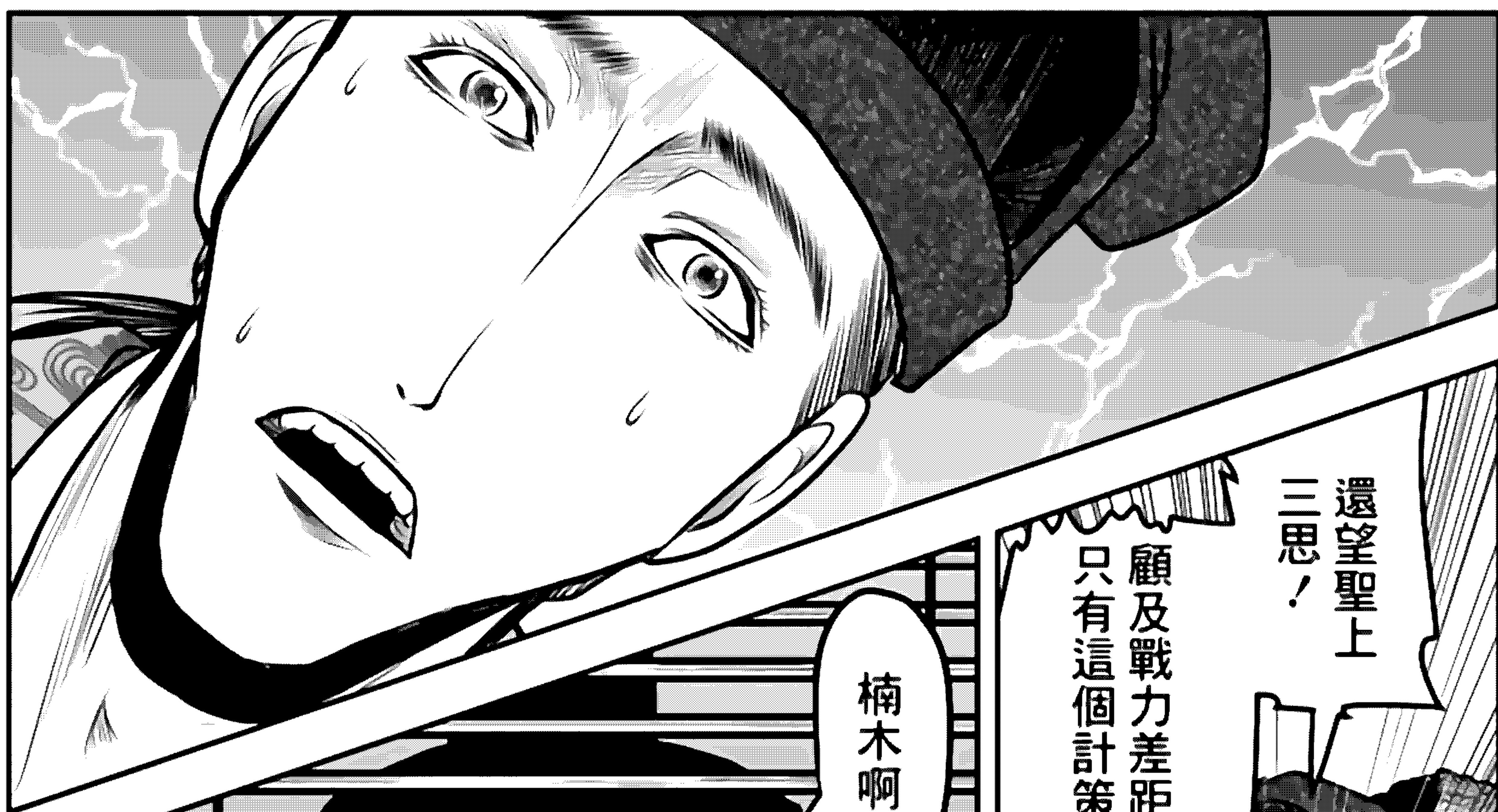




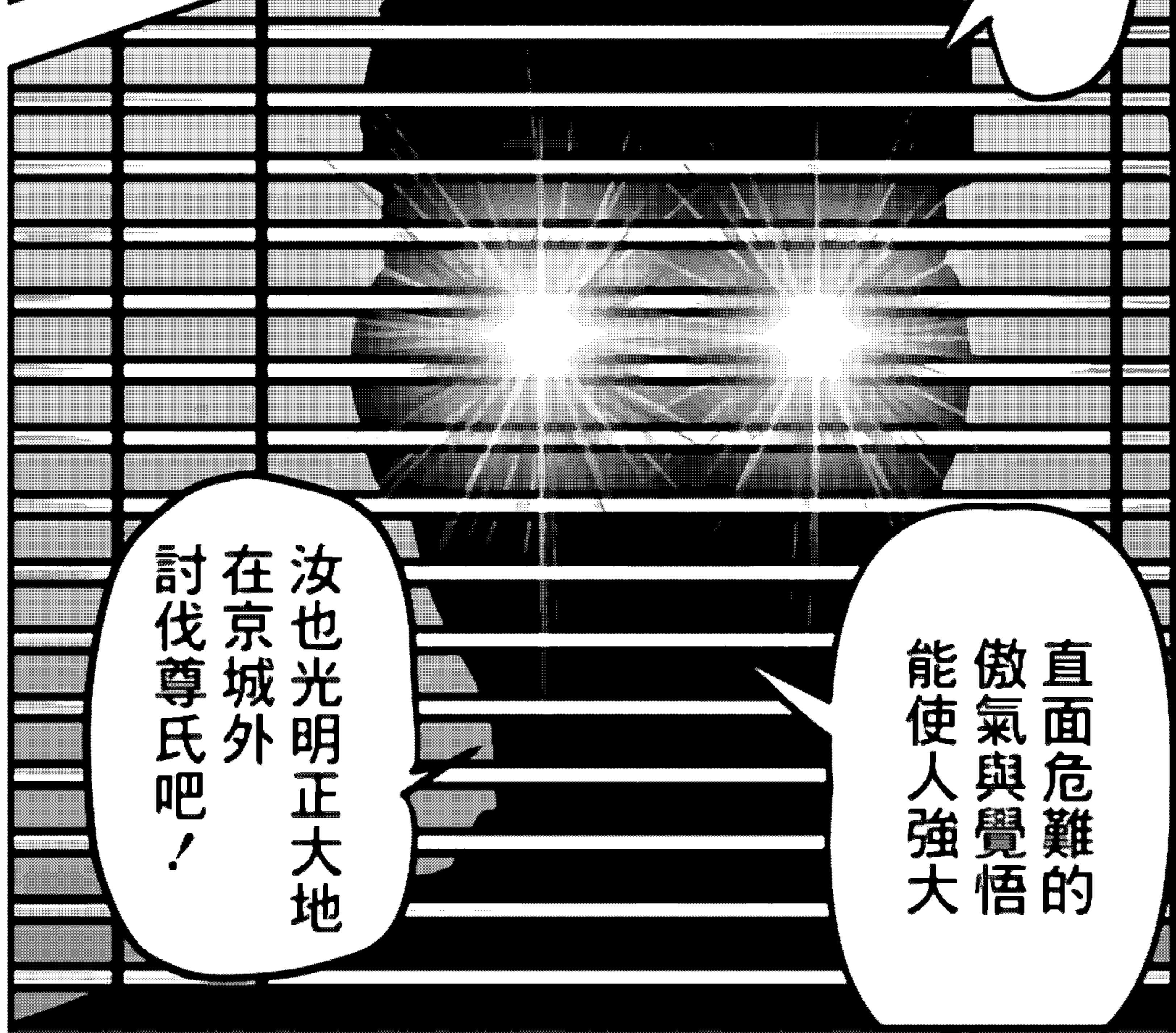
坊門的意見
非常中肯

朕乃帝王

決不能在
關鍵時刻落跑



楠木啊



直面危難的
傲氣與覺悟
能使人強大

汝也光明正大地
在京城外
討伐尊氏吧！



顧及戰力差距
只有這個計策……

還望聖上
三思！



恕臣直言

聖上現已
大不如從前

自從您成爲
天下人

退居垂簾之後
虛張聲勢
拒絕逃跑時起

聖上就變得
懦弱了

而我們初見時

我所見的那個
四處逃避幕府
追兵的聖上：

才是最威風
最強大的





楠木
正成嗎

是

是！

朕看見了
汝的夢想

因此才
召見了汝

請
請
請允許在下
為聖上略盡
綿薄之力！

かし

現在！

輪到朕
來帶領汝
追尋夢想了！

可那天的
夢想！

早已
褪色了



我自會拼死一戰
不過勝算依舊渺茫

聖上於我有大恩
臣要在此獻上
最後的諫言

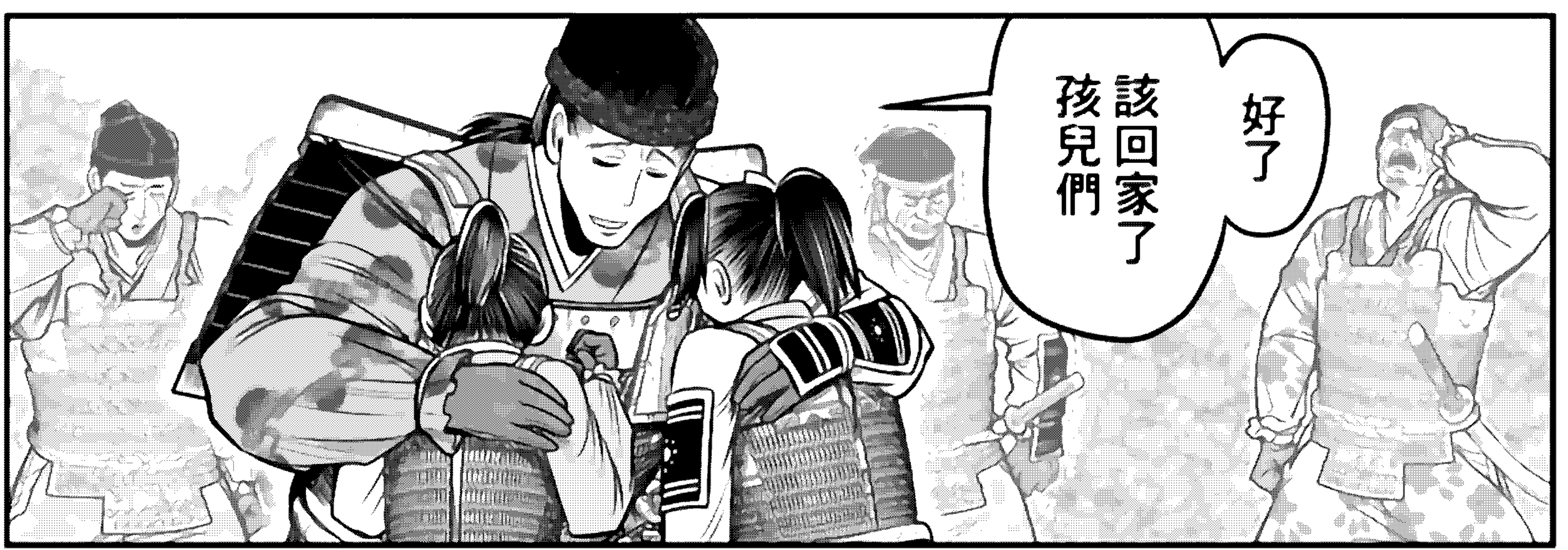
自古以來
越是偉大的英雄
便越善於逃命

若為逞
一時之威
該逃之時也
不肯逃亡的話

那君臨天下的命運
就再也不會
臨幸那位英雄了

還請
聖上







我們要變得
和父親一樣強

賭上這條命
也要爭取某天能
除掉尊氏！



這兩個孩子
和他們的媽媽
一樣血氣方剛

有沒有能讓他們
愛惜生命的名字呢



…有了！

さらさら

公佈！

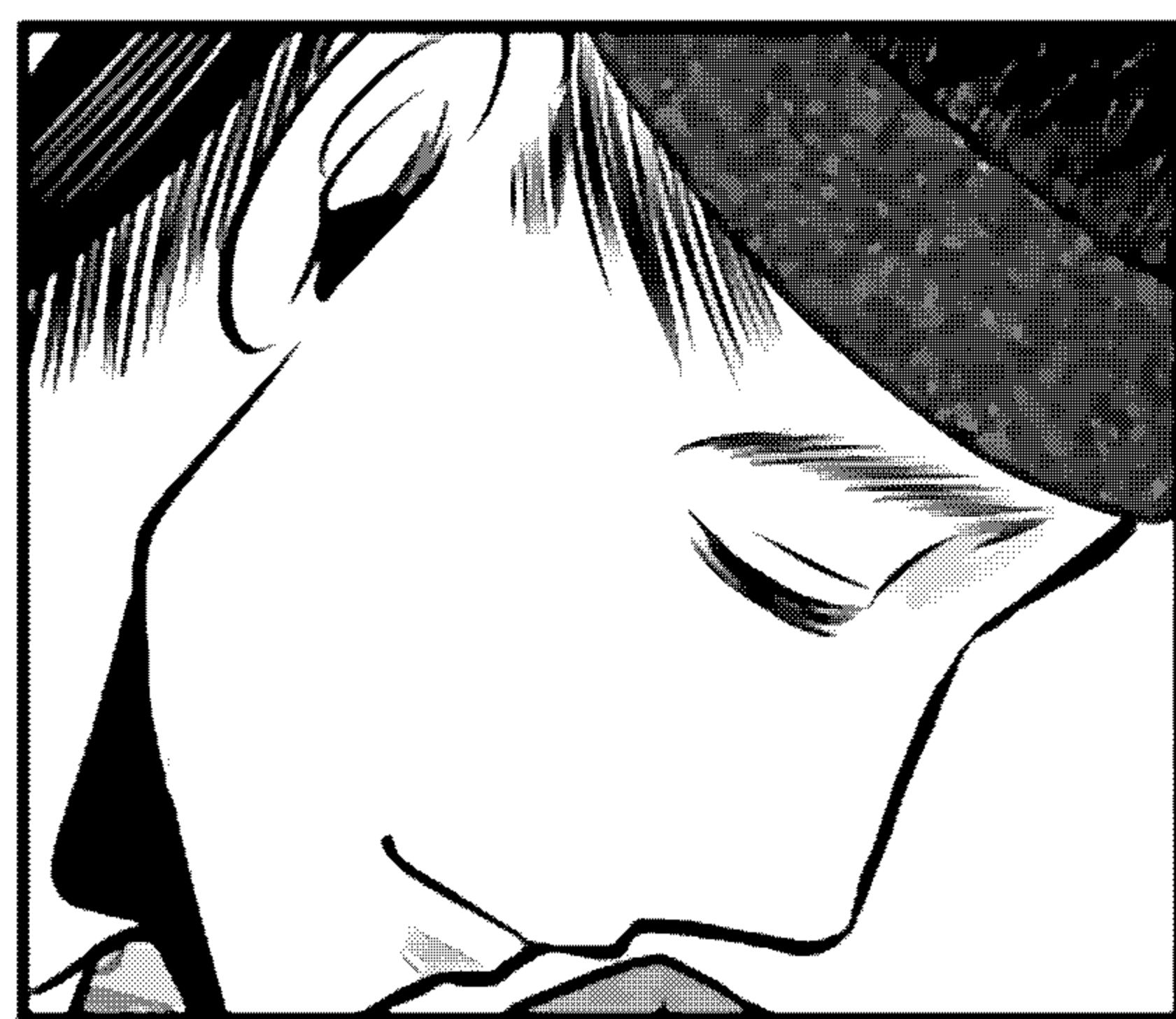
多聞丸
從今天起就叫
「正行」了！

正行

少主溜得快

第112話

本話完



解説上手の 若君

様々な読み方がある
昔の人名がどうやって判明するか解説!

解説 本郷和人

1960年、亀有生まれ。歴史の腐研究所で
ある東京大学史料編纂所の教授。おっちょこ
ちよいでテレビや雑誌にも出演する。

当時の人名の読み方について



人名の漢字の読み方は
どのようにしてわかるの?

名前はたいてい漢字2文字で成り立っている
すが、どうしてそれが読めるのか。今話に登場した楠
木正行の「まさつら」という変わった読みは資料に異な
る漢字で記されていたために判明しました。ニュースな
どのない中世では、人の名前は「音」として入っ
てくる。「くすのきまさつら」という「音」で入って
るので、洞院公賢という貴族は楠木正行のことを「楠
正運」と日記に記した。逆に言うと、正行は普通であ
れば「まさゆき」と読むので、「まさつら」という音を聞
いた時に、正行とは書かなかった。そうすると、漢字
の正しい表記である「楠木正行」は、「くすのきまさつら
」と読むんだな、とわかる。同様に時行も、普通は「とき
ゆき」と読むのだろうと推測できます。



特に意味は
無いのだ
息子たちよ

意味は
無い

他にも次のような判明の仕方があります。

1 現代でも、何となくそう読んでいるから。福山雅治さん、と書いて
あれば、まあ「まさはる」とぼくらは読みますよね。そうした「ごく当たり
前の感覚」は結構大事です。

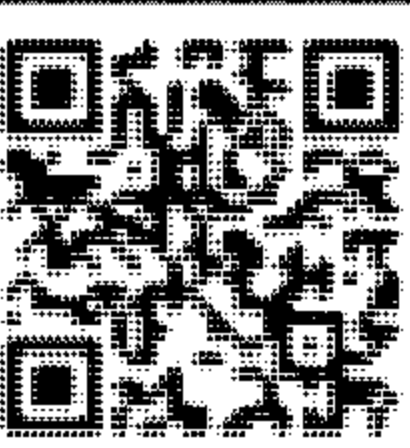
2 資料に読みが振ってある。応仁の乱の西軍の大將のひとりに、島山義就と
いう人がいます。これ、ずっと「よしなり」と読んでいたのですが、『東寺百合文
書』という文書の中に、「よしひろ」と読みが振ってあるのを百瀬今朝雄という先
生が見つめました。それで今は、「よしひろ」と読まれています。

3 歴史学が誕生した明治時代に伝わっていた。中世の有力な家が大
名とか旗本になって明治にまで続いていることがあります。この時、その家で
「通字」が使われていた場合、その通字の読みは明治の子孫が何と名乗っている
かで分かります。

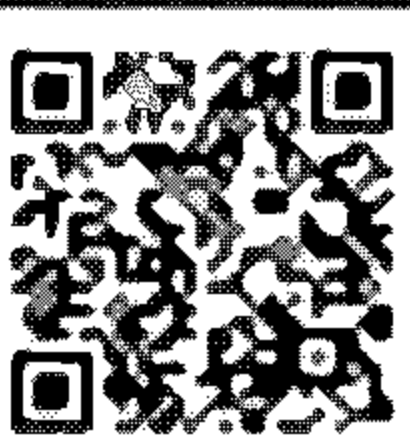
たとえば3の「通字」に関してだと、三重県の孤野というところ(中日ドラゴン
ズの岡林選手は孤野高校出身)は、1万2千石の外様大名、土方家を殿様とする
小さな藩でした。土方家は代々、名前に「雄」の字を用いました。明治維新の時の
お殿様は「土方雄永」で、「かつなが」。「雄」は「かつ」と読んでいたことが分かります。
また、土方の殿様で初代「雄氏」のお父さんは「雄久」。雄久は織田信長の次男、
信雄の家老を務めていて、「雄」の字をもらった。とすると、織田信雄も「おだの
ぶかつ」と読んだのだろう、と推測されます。ただし、ここが面倒なところですが、
土方家で「雄」を「かつ」と読んだからといって、他でもこれが当てはまる保証はあ
りません。赤穂浪士のボス、大石内蔵助の名前は「良雄」ですが、これを「よしかつ
」と読んで良いのかどうか。今のところ、「よしお」説が強いですね。

↑今後の研究によっ
て、歴史上の人物の
名前が変わるかも?

「逃げ若」の情報は
コチラから!



公式サイト



公式Twitter

卷末語

責編腦內的少逃解說
似乎是用作者
我的聲音來配音的。
我要不要去試個音呢。

順位14 / 19
W J 2 0 2 3 N O 27

第112話

少主溜得快

翻譯

我不做人了

校對

古々谷殘丘

嵌字

今

監製

今

壽丸滾滾漢化

首發微博

@混成連合會

歡迎加入漢化

測試群

648466051